



## 平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

コード番号 3063 URL <http://www.igroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	7,269	3.8	△20	—	△24	—	△22	—
24年2月期第3四半期	7,003	△0.9	80	—	134	—	73	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 △22百万円 (—%) 24年2月期第3四半期 76百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	△703.85	—
24年2月期第3四半期	2,391.18	2,213.94

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	7,146	1,585	22.2	48,900.61
24年2月期	6,437	1,570	24.4	50,799.00

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 1,585百万円 24年2月期 1,570百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,007	5.2	110	△49.9	88	△67.0	22	△82.1	684.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社ジェイプロジェクト、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期3Q	33,414 株	24年2月期	31,914 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年2月期3Q	1,000 株	24年2月期	1,000 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	32,054 株	24年2月期3Q	30,767 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響からの緩やかな景気回復をみせていたものの、円高の長期化、欧州債務問題や新興国を含めた海外景気の下振れなどを背景に、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、消費税増税法案の可決等もあり、節約志向が急速に高まる中で、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、収益力を向上させる取り組み「J-Value（ジェイバリュー）」とともに、忘年会需要の喚起、今後の成長戦略を支える人材の確保に努めました。営業面では、顧客満足度向上のため、提供するお料理、サービスの質の充実に重点的に取り組みました。出退店におきましては、今後の企業成長を目指す中で、当第3四半期に6店舗を集中的に出店し、通期累計で9店舗を新規出店、1店舗を閉店し、平成24年11月末日現在の業態数及び店舗数は、49業態93店舗（国内92店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,269百万円（前年同期比3.8%増）、営業損失は20百万円（前年同期は営業利益80百万円）、経常損失は24百万円（前年同期は経常利益134百万円）、四半期純損失は22百万円（前年同期は四半期純利益73百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

忘年会需要の喚起とともに、顧客満足度向上のため、提供するお料理、サービスの質の充実に重点的に取り組みました。また、新規出店におきましては、平成24年3月にオープンした新業態「REGOLITH（レゴリス）」（名古屋市西区）及び新業態「Gappo（ガッポ）」（東京都港区）に加え、当第3四半期には、9月に「芋蔵（イモゾウ）静岡呉服町店」（静岡市葵区）及び「猿Cafe（サルカフェ）静岡呉服町店」（静岡市葵区）、10月に「芋蔵渋谷新南口店」（東京都渋谷区）、11月に「てしごと家関内南口店」（横浜市中区）、新業態「BACCANO（バックカーノ）」（愛知県豊橋市）、新業態「二六丸（ニロクマル）」（愛知県豊橋市）をオープンいたしました。なお、同年3月に契約期間満了に伴い「うな匠（ウナショウ）セントレア」（愛知県常滑市）を閉店しております。

これらの結果、飲食事業における売上高は6,520百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は13百万円（同72.4%減）となりました。

#### ② プライダル事業

平成24年7月に新バンケット「LUCENT Mariage Tower（ルーセントマリアージュタワー）」を開設いたしました。その結果、プライダル事業における売上高は380百万円（前年同期比81.1%増）、施設オープンのイニシャルコストや営業費用等の発生により、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

#### ③ 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」などの賃貸収入に加え、ホールディングス体制への移行に伴い、グループ会社間の賃貸収入が増加いたしました。その結果、不動産事業における売上高は479百万円（前年同期比217.6%増）、営業利益は41百万円（同414.6%増）となりました。

#### ④ その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は561百万円（前年同期比27.7%増）、営業利益は30百万円（同69.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,146百万円（前連結会計年度末比708百万円増加）となり、負債は5,560百万円（同693百万円増加）、純資産は1,585百万円（同14百万円増加）となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が451百万円（前連結会計年度末比28百万円増加）、売掛金が354百万円（同96百万円増加）となり、前連結会計年度末に比べ総額で201百万円増加し1,162百万円となりました。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ506百万円増加し5,983百万円となりました。これは、有形固定資産が、新規出店等の設備投資やリース資産の買取り等によって前連結会計年度末に比べ678百万円増加し、リース資産の買取り等に伴い差入保証金が192百万円減少したことなどが主な要因であります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ14百万円減少し2,104百万円となりました。これは、買掛金が76百万円、短期借入金が79百万円、未払法人税等が45百万円それぞれ減少し、1年内返済予定の長期借入金が206百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ707百万円増加し3,456百万円となりました。これは、長期借入金が728百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ18百万円増加し、利益剰余金が22百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し1,585百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、売上高10,007百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益110百万円（同49.9%減）、経常利益88百万円（同67.0%減）、当期純利益22百万円（同82.1%減）に修正いたしました。詳細は、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、平成24年9月3日付で新設分割を行ない株式会社ジェイプロジェクトを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	423,150	451,587
売掛金	257,785	354,593
有価証券	343	343
商品及び製品	250	290
原材料及び貯蔵品	60,249	68,213
その他	236,054	305,733
貸倒引当金	△17,412	△18,673
流動資産合計	960,420	1,162,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,593,196	2,990,490
土地	1,131,324	1,364,881
その他（純額）	236,447	284,143
有形固定資産合計	3,960,969	4,639,515
無形固定資産	31,486	35,714
投資その他の資産		
投資有価証券	12,149	12,355
差入保証金	1,269,486	1,076,799
その他	203,129	219,566
投資その他の資産合計	1,484,765	1,308,721
固定資産合計	5,477,220	5,983,950
資産合計	6,437,641	7,146,037

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	358,418	281,963
短期借入金	137,499	58,300
1年内返済予定の長期借入金	683,606	890,053
未払法人税等	65,449	20,104
賞与引当金	30,000	31,018
その他	843,492	822,838
流動負債合計	2,118,466	2,104,277
固定負債		
長期借入金	2,442,505	3,170,600
資産除去債務	51,721	57,430
その他	254,547	228,665
固定負債合計	2,748,775	3,456,695
負債合計	4,867,241	5,560,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,531	767,281
資本剰余金	678,531	697,281
利益剰余金	215,429	192,868
自己株式	△76,000	△76,000
株主資本合計	1,566,492	1,581,431
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,907	3,633
その他の包括利益累計額合計	3,907	3,633
純資産合計	1,570,400	1,585,064
負債純資産合計	6,437,641	7,146,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	7,003,155	7,269,818
売上原価	2,110,412	2,196,245
売上総利益	4,892,743	5,073,572
販売費及び一般管理費	4,812,675	5,094,061
営業利益又は営業損失(△)	80,067	△20,489
営業外収益		
受取利息	213	308
協賛金収入	86,489	29,854
設備賃貸料	10,177	3,395
その他	22,164	19,416
営業外収益合計	119,044	52,975
営業外費用		
支払利息	44,885	43,753
その他	20,005	13,518
営業外費用合計	64,891	57,271
経常利益又は経常損失(△)	134,220	△24,785
特別利益		
固定資産売却益	102,499	579
貸倒引当金戻入額	295	—
特別利益合計	102,795	579
特別損失		
固定資産売却損	66	—
店舗閉鎖損失	34,234	—
貸倒引当金繰入額	3,474	1,401
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,345	—
特別損失合計	64,120	1,401
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	172,894	△25,606
法人税等	99,325	△3,045
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	73,569	△22,561
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73,569	△22,561



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	73,569	△22,561
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,949	△280
四半期包括利益	76,519	△22,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,519	△22,841

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,453,485	210,165	128,107	6,791,758	211,396	7,003,155	—	7,003,155
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	57,785	—	22,988	80,774	228,646	309,420	△309,420	—
計	6,511,271	210,165	151,095	6,872,533	440,043	7,312,576	△309,420	7,003,155
セグメント利益又は損失(△)	50,586	△2,228	8,091	56,449	18,115	74,564	5,502	80,067

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5,502千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,518,447	379,992	137,904	7,036,344	233,473	7,269,818	—	7,269,818
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,600	560	341,969	344,130	328,517	672,648	△672,648	—
計	6,520,047	380,553	479,874	7,380,475	561,991	7,942,466	△672,648	7,269,818
セグメント利益又は損失(△)	13,979	△2,869	41,635	52,745	30,649	83,394	△103,883	△20,489

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去29,908千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,791千円となります。全社費用の主なものは、当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。